

長崎県立大学附属図書館(佐世保校)の現状と課題

—アンケート調査の分析を通じて—

大 田 謙一郎

1. はじめに

近年、日本の大学図書館では独自のアンケート調査が継続的に実施されている。たとえば、大阪大学や秋田大学などの国立大学をはじめ、明治大学や近畿大学などの私立大学等があげられる¹⁾。そうしたアンケート調査の背景には、学生による大学図書館の利用率低下が考えられる。なかでも近年、ICT化にともなうインターネットの弊害が想定される。

他方、大学図書館に求められる役割が多様化している。国公立大学をはじめとしていくつかの大学図書館がビブリオ大会、上回生や大学院生による論文添削や指導を行うライティング・センターなど、新たなサービス展開を導入し始めたことである。またそうしたサービスのみならず、学生同士が図書館内でグループ活動や議論し合える空間やPCや大型ディスプレイが導入された空間・飲食が可能な空間やカフェを併設するなど、いわゆるラーニング・コモンズ²⁾を導入する事例も増えてきている。

かつて大学図書館は、教育・研究を推進する核となる重要な施設であり、その大学図書館にある蔵書数の高さによって大学の学術基盤の充実度を推し量る1つの尺度であると考えられ、また大学に所属する学生・研究者が読書や調べものをする施設として静粛性が重要視されていた。そのような静粛性を重視する観点は今日の大学図書館においても以前と同様の役割を果たしているが、同時に共有スペースを設け、活発な議論やグループ活動が可能な場を提供するなど、新たな形での主体的な学びの支援が行われている。つまり学生の多様なニーズに応えるために、大学図書館の役割自体が多様化し、新たな施設やサービスを導入している段階であるといえよう。

このように大学生における大学図書館の利用率が低下し続けるなかで、各大学は学生の利用率向上に向けた新たな施設やサービスを導入し始めている段階にあり、

アンケート調査もその利用率向上に向けた取組みの一つであるといえる。しかしそうしたなかで本学では、ここ数年大規模な調査が行われておらず、本学生の大学附属図書館に対する利用実態をつかみきれていないのが現状である。

本稿の目的は、そうした課題を克服すべく、本佐世保校で行ったアンケート調査を解析し、本学生における長崎県立大学附属図書館の利用実態について明らかにするとともに、その附属図書館における学びの支援の在り方について提言をしたい。

2. 先行研究

(1) 木下他(2007)が行った立命館大学図書館の事例

本学生における長崎県立大学附属図書館の利用実態を明らかにするうえで、まずは他の大学ではどのような調査目的でその調査が進められたのか、という先行研究を行う必要がある。本節では、立命館大学図書館の事例から調査目的や調査方法について考察したい。

木下他(2007)によれば、大学図書館の意義について、そもそも大学図書館は、学生の主体的な「学び」のうえに立脚し、彼らの正課における「学び」の支援を行う施設として存在することが理想とされていたことが指摘された。また、大学生は、大学で主体的に学び・研究することを目的し、そのなかで図書館が、その「学び」を活性化させるための支援を行ってきたことが示唆された³⁾。

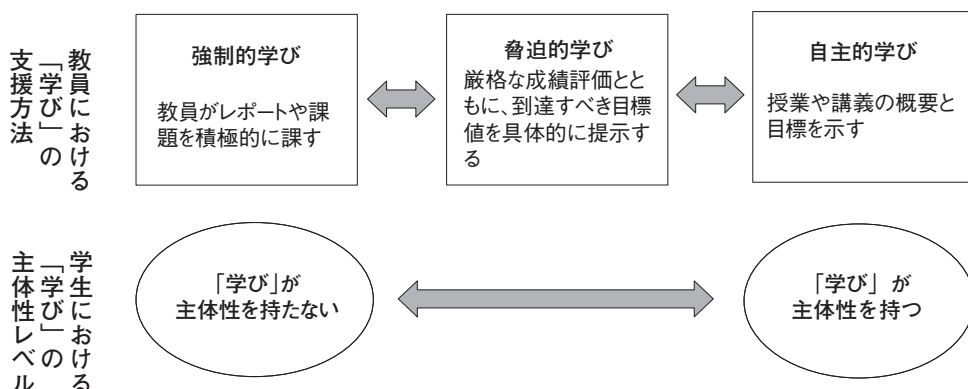
しかしながら、そのような高度教育機関であった大学も、近年大衆化し、ユニバーサル化し、多様な入試で多様な学生を迎えるなかで、学生が考える大学における「学び」の意味の理解や主体性における格差は、結果として、拡大化されてきたことが述べられた⁴⁾。

そのように今日の大学生における「学び」の格差を前提としたうえで、木下他は、図書館の視点から学生の正課での「学び」の実態を明らかにし、学生の正課での「学び」に対する新たな図書館支援の提案を行うことを目的としたのである⁵⁾。

まず木下他が指摘する「学び」の主体性とは何か。彼らによれば、大学生の「学び」の主体性に応じて、教員における学びの支援方法は3つのレベルがあることが指摘されている。それを図表化したものが図表2-1である。

大学生における「学び」の実態に関する測定方法について、彼らは図書館における貸出サービスの利用回数やシラバスに掲載されている参考文献の利用率、普段の学習時間数、の3つの観点から考察を行っている⁶⁾。しかし、「学び」の実態を把握するうえで、何故その3つの観点から調査が行われたのか、の理由については明確

図表 2 - 1 木下他 (2007) が整理した大学生の「学び」の主体性レベルと教員の支援方法



木下他(2007)「学生の「学びの形成」を支援する図書館-主体性の確立をめざして-」33頁を元に筆者修正・加筆

に言及されておらず、また探索的な検証のもとで、その「学び」の実態に関する考察されたことから、大学生における「学び」の実態の把握方法は必ずしも確立された訳ではないことが分かる。さらに、木下他(2007)が指摘するように、大学図書館は在籍する学生や教員によって規定されることが指摘されている⁷⁾ように、調査方法や設問内容、調査における問題意識等については、在学する学生や教員に適した質問内容を設定するべきであると考えられる。

調査方法について、彼らの研究では立命館大学が毎年実施している学生の実態調査結果を材料に、正課における学生の図書利用頻度や学術情報の活用という項目についてヒアリング調査を行っている。そのヒアリングの対象者は学生のみならず、教員や図書スタッフなどである。

(2) 津野(2011)が行った3校の大学図書館における事例

他の先行研究も確認したい。本節では津野(2011)が行った大学図書館の調査結果を取りあげる。津野は、情報リテラシーの観点から大学図書館の図書館利用教育の在り方について検証した。

調査方法について、彼の研究では、公立A大学・私立B、C両大学の3校に在学する大学生を対象にアンケート調査とインタビュー調査の2つの方法が採用された。サンプル数は、公立A大学は155人(1-2年生)、私立B大学は204人(1年生)、私立C大学は48人(2-4年生)であった。質問内容は、“現在の情報環境に、どのように接しているかに関する設問”、“小学校・中学校・高校・大学での図書館利用教育に関する設問”、“図書館を利用した学習に関する設問”、“大学での図書館利用教育に対する理解度”、“大学図書館の利用頻度”、“大学図書館に対する意識”、

などである。

検証結果について、①中学から高校に在籍する学生は、携帯電話を利用した娯楽に関する情報検索が主であるのに対して、大学入学後はパソコンを利用した講義や学習に関する情報検索が増加傾向にあること、②講義に関する課題レポートを書く際に、書籍よりもインターネット情報を利用する学生は多く存在し、在学年数があるにつれてその割合は低下すること、③大学初年次において、およそ3割近い学生は図書館を利用しておらず、大学初年次の図書館利用教育における理解度の低さがその一因であったこと、の3つに要約される。

上記のような課題に対する対応策として、彼らは、①大学初年次において、学生に対して講義や演習などを通じた図書館利用教育の徹底化を図ること、②学生に対して高校と連携した情報リテラシーの教育を図ること、③インターネットの特質や情報の脆弱性情報を強調した図書館利用教育の在り方の是正を図ること、④教員と図書館職員が連携し、大学図書館を活用したレポート課題を課すような仕組み作りを構築すること、の4つの改善策を提唱した。

前章であげたように、近年における情報化社会の進展によって、各方面に様々で多大な影響を及ぼし、その影響は図書館や図書館資料を取り巻く状況も例外ではなく、図書館の在り方そのものが問われている。とりわけ、インターネットの利用率と図書館利用率の関係について、本研究においても改めて検証する必要がある。また、彼らが提案するような大学図書館を活用したレポート課題を課すような取組みに関する考察を行いたい。

(3) 先行研究に関する小括

2つの先行研究から明らかになったように、単なる図書館利用率を向上させる対応策を考案するのではなく、大学の教育や「学び」の充実化を図るうえで、いかに図書館の施設やサービスを含めた体制を構築するか、を考えるべきである。また、インターネットの利用率と図書館利用率の関係について、本研究においても改めて検証する必要がある。ただし、大学図書館は、在籍する学生や教員によって規定されることから、図書館アンケートそのものに対しては、その大学や図書館・学生に対応した独自のアンケートを行うべきであろう。言い換えれば、必ずしも他大学で行われている調査手法や調査項目そのものを引用する必要はないということである。

本調査では、本章で提示した2つの先行研究を意識しながら、まずは図書館利用状況や図書館における施設やサービスに関する設問、講義とインターネットとの関

係や情報接触環境を含めた学生の生活実態に関する設問等を通じて、本学生の大学図書館に関する実態を把握したうえで、本大学附属図書館における学びの支援の在り方について提言をしたい。

3. 調査概要と基礎解析 —附属図書館の利用度を高める要因について—

(1) 調査概要

調査方法は、集合調査法による紙媒体のアンケート調査をもちいた。具体的には、ゼミナールの講義時間をもちいて各指導教員から学生へ質問用紙が配布し、それらが回収された。質問項目は、文末の参考資料のとおりである。調査期間は、2015年11月24日（火）～27日（金）の計4日間である。対象者は、佐世保校に在籍する学生（約1800人）である。

以上の集計結果から得られたデータ数は、1248部（69.3%）であり、7割近い回収率であった。そのうち、正誤設問をもちいた有効回答部数は1166部（64.7%）であった。

(2) 附属図書館の利用度を高める要因について —カテゴリカル回帰分析—

本学生の附属図書館に対する利用度を高める要因は何か、を明らかにするため、カテゴリカル回帰分析を行った。具体的には、Q1である“図書館利用頻度”とQ9である“学生生活における関心事”の各項目との回帰分析を通じて、それらの因果関係を明示する。ただし、次節にある通り、Q9-3-4である“課外を過ごす場として図書館”と回答する項目とQ1の図書館利用頻度との関係はかなり高い相関関係であることから、本分析やその解釈を行う上で弊害が伴ったことから、恣意的にQ9-3-4の項目を除外したうえで分析を進めている。

分析結果は下図の図表3-1である。まずモデル適合度を示す調整済みR²乗は、あまり高い数値ではなかった(0.164)。その理由として、モデル自体が試験的あるいは探索的なモデルであり、各独立変数と従属変数との関連性が必ずしも高いとはいえないからであろう。しかしながら、分散分析の結果は、有意な結果であることが示されたことから、求められた因果関係式は予測に役立つことが示された(df=24, F=9.578, p<0.05)。

以上のことから、この回帰式はある程度参考に値すると認識し、分析結果について継続して考察したい。図表3-1をもとに、有意な独立変数のみを抽出すると、以下の回帰式が求められる。

“図書館利用頻度” = (.134×“資格取得時間”) + (.112×“書物を読む時間”) + (.101×“講義時間外の読書時間”) + (.093×“食堂・学生会館利用頻度”) + (-.081×“部室利用頻度”) + (-.099×“アルバイト時間”) + (-.100×“講義時間外の携帯電話利用時間”) + (-.152×“自宅・友人宅利用頻度”)

つまり図書館利用頻度を高める要因は、順番に①“資格取得に向けた勉強量（時間）”(.134)、②“書物を読む時間の長さ”(.112)、③“講義時間外に行う読書時間の長さ”(.101)、④“食堂・学生会館利用頻度”(.093)、であることが明らかとなった。逆に図書館利用頻度を低下させる要因として、順番に①“自宅・友人宅利用頻度”(-.152)、②“講義時間外の携帯電話利用時間”(-.100)、③“アルバイト時間”(-.099)、④“部室利用頻度”(-.081)、であることが示唆された。

上記の結果について考察したい。まず図書館利用頻度を高める要因の特徴として、先行研究で示されたように、学生の“自主的な学び”があげられる。資格取得という学生自身が主体的に学習目標に向けられた行動、読書に対する機会の高さや習慣化が関連し、自主的な学びのなかでも具体的な目標がある自主的な学びの方が、具体的な目標がない学び（読書に対する機会の高さや習慣化）にくらべて図書館利用頻度をより高める要因であることが示された。また自主的な学び以外の要因として、学内における飲食関連施設との関連性が高いことがこの結果から推測されよう。

他方、図書館利用頻度を低下させる要因は、アルバイトや部室の滞在時間、あるいは講義がある日のうち、講義がない時間帯において自宅で過ごすなど、勉学と関連性があまりない学外における活動時間の長さが関連していると推察できる。ただしQ8からも分かるように、本学生は、半数以上の学生が普段は学内で自学をせずに {有効回答数：641人 (56.1%)}、自宅で勉学を行う学生も少なくないことから {無回答を除いた最多回答数：127人 (11.4%)}、必ずしも自宅に戻ることが勉学の妨げになるわけではなく、あくまで図書館利用頻度が下がる傾向にあるということに注意する必要がある。むしろ、彼らが課外の時間を過ごす場として部室や自宅を選ぶということは、彼らが図書館に魅力を感じていない、あるいは図書館よりも他の施設をより評価していると推察する方が適切であろう。

図表 3 - 1 Q1 を目的変数、Q9 を説明変数としたカテゴリカル回帰分析結果

	標準化された係数		df	F 値	有意確率
	ベータ	標準誤差の ブートストラップ ラップ (1000) 確定			
資格取得	.134	.042	2	10.016	.000
書物	.112	.041	1	7.352	.007
読書	.101	.047	3	4.662	.003
食堂・学生会館	.093	.040	1	5.583	.018
新聞・雑誌	.044	.042	2	1.107	.331
知的探求	.029	.045	1	.418	.518
間食	.025	.040	4	.403	.807
クラブ活動	-.022	.041	1	.280	.597
インターネット (PC・モバイル)	-.045	.069	2	.421	.656
テレビ	-.069	.059	1	1.331	.249
部室	-.081	.036	1	5.122	.024
友人との会話	-.081	.047	1	3.037	.082
アルバイト時間	-.099	.030	2	11.167	.000
携帯電話	-.100	.035	1	8.346	.004
自宅・友人宅	-.152	.031	1	23.688	.000

注) ①分析モデルにおける重相関係数 (R) は、.429であり、調整済み R² 乗は.164である。②目的変数は、図書館利用頻度である。③各係数の有意水準は 5%であり、5%以下であればその説明変数は有意(影響があり)とみなされる。④各説明変数の相対的な影響力の大きさは標準化係数に大きさの順で説明できる。⑤本回帰分析における分散分析結果について、df=24、f=9.57、p<0.05となり、有意であることが示された。なお、df とは自由度、f の数値は F 値、p は有意確率のことを指す。

(3) 附属図書館の利用度を高める要因について — 相関分析 —

別の視点から図書館利用率との相関関係の高い要因を探索すべく、Q1 である“図書館利用頻度”と比例尺度に準ずる全ての質問項目と相関分析を行った。その分析結果のうち相関係数が高い要因のみを記載したのが下図の図表 3 - 2 である。

結果をみると、学内で自学を行う行動や日々の読書量を高めることによって、図書館の利用率が高くなる傾向があることが推定できる。前節の分析で考察された内容とある程度類似する結果ともいえる。

図表 3 - 2 Q1 と比例尺度に準ずる全ての項目(Q2 ~ Q9)における相関分析結果の要点

	Q9 - 3 - 4 課外を過ごす場：図書館利用率	Q8 普段、学内における自学の有無	Q3 - 6 選書ツアーコーナーの認知度	Q3 - 7 新刊ベストセラーコーナーの認知度	Q9 - 1 - 4 一日あたりの書物を読む時間の長さ	Q9 - 4 - 4 課外を過ごす際における読書する時間の長さ
Q1 図書館利用率の高さ	.557**	.343**	.270**	.247**	.247**	.234**

注1：**は統計的に有意であることを示している。

注2：相関係数は $1 \leq r \leq -1$ の値を取り、1に近づくほど両者の相関関係は高いとみなす。

(4) 附属図書館の利用度を高める要因に関する小括

カテゴリカル回帰分析や相関分析、いずれの分析においても、学生の“自主的な学び”が形成されているほど、彼らの本附属図書館利用率が高まることが示された。また自主的な学びのうち、資格取得など目標が定められている自学活動の方がその利用率がより高まることが示唆された。

4. 応用解析 —学生生活意識と図書館利用頻度—

(1) 学生生活意識による類型 —非階層クラスター分析—

本節では、図書館利用頻度と学生生活意識との関係について検証したい。両者をクロスすることによって、学生生活実態を加味した包括的・総合的な解釈が可能になると考えられる。両者の関係を明らかにするうえで、まずは学生生活意識によって学生生活スタイルを層別に弁別した。具体的には、Q9である“学生生活における関心事”の各項目を基に非階層クラスター分析を行った。なおクラスター数を8つに弁別した際、一定の人数が確保されたことから、以下の分析は、クラスター数を8つで検証を行う。

分析結果は下図の図表4-1である。クラスター毎に、Q9の標準化された得点と人数が標記されている。数値の大きさは、設問内で標準化された相対的な値であり、設問を超えた数値間の比較は必ずしも出来ない。

まず第1クラスターは、講義の空き時間に携帯電話(.695)を利用し、普段から多くインターネット(.475)を接触しており、学生生活における関心事はアルバイトと回答する学生群である。したがって、第1クラスターを“アルバイト志向派”と命名する。

次に、第2クラスターは、多様な情報・メディアに接触し、学生生活における関心事は資格取得(.555)や知的探求(.640)であり、課外を過ごす場として食堂・学生会館(.640)や図書館(.409)を挙げ、課外を過ごす際に行うこととして全ての項目にポジティブな回答をした集団である。以上の結果から、第2クラスターを“資格&知的探求志向派”と命名する。

第3クラスターは、普段から接する情報源としてインターネット(.356)を挙げ、学生生活における関心事として資格取得(.763)と回答し、課外を過ごす場として図書館(.457)を利用する学生群である。以上の結果から、第3クラスターを“資格取得志向派”と命名する。

第4クラスターは、学生生活における関心事としてクラブ活動(1.168)や知的

探求 (.219) と回答し、課外を過ごす場として部室 (1.779) を利用し、課外を過ごす際に行うこととして友人との会話 (.620) や携帯電話 (.267)、読書 (.224) を行う学生群である。以上の結果から、第4クラスターを“クラブ活動志向派”と命名する。

第5クラスターは、普段から接する情報源としてテレビ (.262) を挙げ、学生生活における関心事としてアルバイト (.506) やクラブ活動 (.307) と回答し、課外を過ごす場として食堂・学生会館 (.798) を利用し、課外を過ごす際に行うこととして友人との会話 (.702) や携帯電話 (.397)、間食 (.260) を行う学生群である。以上の結果から、第5クラスターを“クラブ・バイト両立派”と命名する。

第6クラスターは、普段から接する情報源として書物 (.386) を挙げ、学生生活における関心事として知的探求 (.273) と回答し、課外を過ごす際に行うこととして読書 (.471) を行う学生群である。以上から、第6クラスターを“知的探求志向派”と命名する。

第7クラスターは、普段から接する情報源として新聞・雑誌 (.725) やテレビ (.646)、インターネット (.571) を挙げ、学生生活における関心事としてアルバイト (.662) やクラブ活動 (.317)、知的探求 (.224) と回答し、課外を過ごす場として自宅・友人宅 (.432) や食堂・学生会館 (.403) を利用し、課外を過ごす際に行うこととして携帯電話 (.588) や友人との会話 (.378) を行う学生群である。

図表 4-1 Q9 をもちいた非階層クラスター分析結果

	アルバイト 志向派	資格& 知的探求 志向派	資格取得 志向派	クラブ活動 志向派	クラブ・ バイト 両立派	知的探求 志向派	積極的活動 志向派	無気力派
Q911-インターネット	.475	.463	.356	.176	.056	-.614	.571	-.912
Q912-新聞・雑誌	-.865	.411	-.622	-.048	-.858	.094	.725	-.221
Q913-テレビ	-.406	.315	-.336	-.399	.262	-.352	.646	-.361
Q914-書物	-.611	1.152	-.651	.112	-.896	.386	.022	-.671
Q921-アルバイト時間	.374	-.237	-.808	.071	.506	.161	.662	-.178
Q922-クラブ活動	-.278	-.129	-.102	1.168	.307	-.180	.317	-.256
Q923-資格取得	-.509	.555	.763	-.275	-.457	.010	-.251	-.359
Q924-知的探求	-.644	.575	-.341	.219	-.806	.273	.224	-.617
Q931-食堂・学生会館	-.939	.640	.041	.348	.798	.009	.403	-.863
Q932-部室	-.353	-.176	-.102	1.779	-.081	-.013	-.150	-.269
Q933-自宅・友人宅	.143	-.540	-.267	-.129	.078	.073	.432	-1.216
Q934-図書館	-1.208	.409	.457	-.315	-.610	.059	-.554	-.936
Q941-携帯電話	.695	.289	-.056	.267	.397	-.669	.588	-1.302
Q942-間食	.274	.266	-.515	.185	.260	-.427	.096	-.1.168
Q943-友人との会話	-.355	.253	-.325	.620	.702	-.582	.378	-1.760
Q944-読書	-.639	.933	-.761	.224	-.884	.471	-.298	-.591
	113人	136人	119人	169人	233人	205人	134人	49人

したがって、第7クラスターを“積極的活動志向派”と命名する。

最後に、第8クラスターは、ほとんど各項目がマイナスの値を取っていることから、第8クラスター層を“無気力派”と命名した。

(2) 学生の生活意識と図書館利用頻度

行にQ1である“図書館利用頻度”と列にさきほどのクラスター分析の結果を用いて、クロス集計した。その結果が図表4-2である。

ほぼ毎日図書館を利用する学生は、“知的探求志向派”と“資格&知的探求志向派”と“資格取得志向派”という3つのタイプから構成される。知的探求志向派は、比較的定期的に図書館を利用する傾向があるなかで、資格取得志向派は、ほぼ毎日通うか、あるいは以前利用していたが最近利用しなくなったと両極端にある。月・年ベースになると、クラブ活動志向派やアルバイト志向派が利用する。なかでも、両立派を含むアルバイト志向派は、利用したことがないと回答する傾向にある。積極的活動志向派は、前節の傾向通り、そもそも図書館を利用しない群であり、それがこのクロス集計表にも表れている。

図表4-2 クラスター分析の結果×Q1のクロス集計表(%)

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど利用しない	利用したことがない	以前利用していたが最近利用しなくなった
知的探求志向派	32.7%	21.8%	19.0%	10.9%	9.2%	0.0%	9.8%
資格&知的探求志向派	24.5%	21.5%	9.8%	4.3%	3.1%	0.0%	9.8%
資格取得志向派	24.5%	12.9%	9.6%	5.4%	6.9%	0.0%	17.1%
クラブ活動志向派	8.2%	12.9%	16.0%	17.9%	13.1%	9.1%	4.9%
アルバイト志向派	4.1%	5.9%	6.4%	16.3%	20.0%	45.5%	7.3%
クラブ・バイト両立派	4.1%	11.6%	22.0%	26.6%	26.2%	27.3%	29.3%
無気力派	2.0%	4.6%	3.7%	2.7%	6.9%	9.1%	7.3%
積極的活動志向派	0.0%	7.9%	12.8%	14.7%	14.6%	9.1%	14.6%
	49人	300人	434人	182人	130人	11人	41人

※15%以上を太字、群ごとにもっとも傾向が高いところを赤字。

(3) 図書館利用頻度とその利用目的

さらにQ1である図書館の利用頻度とSQ1-1およびSQ1-3である図書館を利用する／利用しない理由とのクロス集計した。その結果が図表4-3と図表4-4である。両図表ともに、平均値よりも高い数値の場合のみ、太字でハイライトしてある。

まず、図表4-3である図書館を利用するその理由について考察したい。

前節の結果を考慮すれば、ほぼ毎日、図書館を利用する学生は、知的探求志向派

と資格取得志向派とその両方を行う3タイプの学生から構成され、おおよそ図表4-3のクロス集計表も同様の結果となった。また、前節で指摘された知的探求は、新聞を読む(38.8%)などを含めた一般教養をもとめる知的探求だけでなく、講義の準備・学習(51.0%)や試験対策(46.9%)という試験対策を意識した専門的な知識を含めた知的探求であることが分かった。

同様に、週ペースで図書館を利用する学生は、前節の結果と類似する傾向となり、講義対策関連(講義の小テスト・レポート:55.8%、ゼミの調べ物:45.9%、講義の準備・学習:43.6%)と資格取得関連(検定・資格の勉強:24.1%)の2つの理由から構成されている。ほぼ毎日利用する学生との大きな違いは、知的探求にかかわる中身である。予習・復習を意識した内容の割合が減少し(51.0%⇒43.6%)、かわりにゼミや講義における課題を中心した内容が増えている(講義の小テスト・レポート:38.8%⇒55.8%、ゼミの調べ物:30.6%⇒45.9%)点にある。また、新聞を読む割合が大きく減少した(38.8%⇒12.9%)。おそらく、知的探求志向派などの割合が減少し、かわりにクラブ活動志向派の割合が上昇するなど、構成する学生の割合が若干変わったためであると考えられる。

月ベースになってくると、講義関連(講義の小テスト・レポート:60.0%、ゼミの調べ物:51.3%)を理由に利用する傾向にある。週ペースとの違いは、とくに資格関連であり、大きく減少している(検定・資格の勉強:24.1%⇒8.9%)。おそらく、この原因についてもさきほどの構成比が変わったことが大きく起因していると考えられる。

図表4-3 Q1とSQ1-1とのクロス集計表(%)

	講義の小テスト・レポート	ゼミの調べ物	講義の準備・学習	試験対策	検定・資格の勉強	新聞を読むため	
ほぼ毎日	38.8%	30.6%	51.0%	46.9%	32.7%	38.8%	
週に数回	55.8%	45.9%	43.6%	27.7%	24.1%	12.9%	
月に数回	60.0%	51.3%	38.0%	22.4%	8.9%	7.1%	
年に数回	52.7%	44.0%	32.1%	30.4%	6.5%	5.4%	
平均	51.8%	42.9%	41.2%	31.9%	18.0%	16.0%	

休憩	教養・娯楽 (雑誌・新聞 以外)	文献複写	AV資料の 利用	雑誌を読む ため	電子ジャーナル・ データベースの 利用	
~	20.4%	10.2%	8.2%	2.0%	8.2%	49人
	19.8%	15.5%	11.6%	11.9%	4.3%	303人
	13.7%	14.2%	10.8%	6.6%	3.2%	437人
	7.6%	9.2%	5.4%	3.3%	0.5%	184人
	15.4%	12.3%	9.0%	6.0%	4.1%	

次に、図表4-4である図書館を利用しないその理由について考察したい。

他と比較したとき、図書館を“ほとんど利用しない”学生の本施設を利用しない特徴的な理由は、利用しなくても支障がない(28.5%)と同時に、行くのが面倒(28.5%)と回答するところにある。つまり、アルバイトやクラブ活動等の理由により、利用する時間的な制約があるというよりは、図書館を利用する意義や必要性を感じていない傾向が見受けられる。

同様に、図書館を“利用したことがない”や“以前利用していたが最近利用しなくなった”については、サンプル数が少数であるため、あくまで傾向のみだけを検討したい。とくに“利用したことがない”と回答した人は、11人しかおらず、その主な理由として、本を読まずにインターネットで調べる(36.4%)や利用する時間がない(27.3%)を理由に挙げている。

図表4-4 Q1とSQ1-3とのクロス集計表(%)

	利用しなくとも支障がない	本は読まずにインターネットで調べる	利用する時間がない	行くのが面倒	利用したい資料がない	図書館の雰囲気が苦手
ほとんど利用しない	28.5%	27.7%	13.8%	28.5%	8.5%	4.6%
利用したことがない	18.2%	36.4%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%
以前利用していたが最近利用しなくなった	34.1%	7.3%	29.3%	7.3%	4.9%	7.3%
平均	26.9%	23.8%	23.5%	18.0%	7.5%	7.0%

	自分で購入する	近くの別の図書館を利用する	
～	4.6%	1.5%	130人
	0.0%	0.0%	11人
	4.9%	2.4%	41人
	3.2%	1.3%	

(4) 学生の生活意識と図書館利用頻度に関する小括

非階層クラスター分析を行うことによって、本附属図書館を利用する／利用しない学生の人物像が明確となった。つまり、本章の第2節で示したように、講義・ゼミの予習や復習を含めた知的探求志向派や資格取得志向派は、ヨリ図書館を利用する傾向にあり、逆に、クラブ・サークル活動と兼業する両立派を含むアルバイト志向派は、大学図書館を利用したことがないと回答する傾向にあることが分かった。また前章の結果と同様に、学生自ら主体的に「学ぶ」姿勢がある学生ほど、本学図書館を利用する傾向にあることが本解析においても明らかになった。さらに、本学図書館を利用する理由として、講義や演習科目の準備や予習・復習、課題を挙げる

など、講義と図書館が連動した形で学習する傾向も見受けられた。

しかしながら、そうした自ら主体的に「学ぶ」学生というのは、全体から見れば約3割程度しかおらず(約30.1%(毎日+週ペース:352人/全サンプル数1166人))、残りの7割近い学生は、本図書館以外で講義の課題等を行うことが想定される。今後の課題として、そうした7割近い学生をいかに主体的な「学び」へと導くか、が今後の課題となるだろう。

5. 応用解析 ー図書館利用頻度とインターネットー

(1) 図書館利用頻度とレポート作成時におけるネット利用率 ークロス表分析ー

本章では、図書館利用頻度とレポート作成時におけるインターネットの利用率との関係について明らかにしたい。まず前節の“図書館利用頻度とその利用目的”における検証の際に明記された通り、本附属図書館を利用しない理由の一つに、“本を読まずにインターネットで調査する”と回答する傾向がある(ほとんど利用しない:27.7%)ことがいえる。それを前提としながら、Q1である図書館の利用頻度とQ6であるレポート作成時における資料の引用実態とのクロス集計を行った。その結果は下図の図表5-1である。

図表5-1 Q1とQ6とのクロス集計表(%)

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど 利用しない
③講義内容+図書館で調べた資料から引用する	31.3%	25.3%	22.0%	12.3%	8.1%
①指定図書を含む講義内容のみ参考にする	12.5%	7.4%	9.3%	5.6%	7.3%
④すべての資料を引用する	18.8%	27.7%	23.2%	21.8%	10.6%
②講義内容+インターネット情報から引用する	37.5%	39.3%	45.3%	60.3%	74.0%
⑤その他	0.0%	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※横軸を基準にしたとき、最もスコアが高かったものを赤太字、次点を黒太字とした。

上図の集計結果において、両者の関係において最も特徴的な事は、レポートを作成する際にインターネット情報を引用するQ6-1-2である“講義内容+インターネット情報から引用する”という問いに対して、図書館を利用しない学生ほどその回答率が高くなるということである。その逆も同様であるように、図書館を利用する学生ほど、レポート作成時に、Q6-1-3である“講義内容+図書館で調べた資料から引用する”という回答率が高まることがこのグラフから分かる。

次に特徴的な項目として、今度は主に縦軸を基準に考察を行うと、すべての項目

においてQ6-1-2である“講義内容+インターネット情報から引用する”という回答が最も多かった（ほぼ毎日：37.5%、週に数回：39.3%、月に数回：45.3%、年に数回：60.3%、ほとんど利用しない：74.0%）。このことから図書館利用率の有無にかかわらず、少なくとも本学生においては、講義内容と併せてインターネット情報を基にレポートを作成することが多数派であるといえる。

さらに詳しく検証するために、次節では、SQ6-1およびSQ6-2であるレポート作成時における資料のうち、インターネット情報の参照度および引用度について考察したい。

(2) 図書館利用頻度とレポート作成時におけるネット参照度および引用度

本節では、図書館利用頻度とレポート作成時におけるインターネット情報の参照度ならびに引用度との関係について考察する。下図の図表5-2はQ1である図書館の利用頻度とSQ6-1およびSQ6-2であるレポート作成時における資料のうち、インターネット情報の参照度および引用度とのクロス集計結果である。

図表5-2 Q1とSQ6-1およびSQ6-2とのクロス集計表（%と平均）

インターネット情報の参考度							
	1-2割	3-4割	5-6割	7-8割	9-10割	100%	平均(10割中)
ほぼ毎日	9.3%	32.6%	30.2%	23.3%	4.7%	100%	5.1割
週に数回	12.5%	39.3%	29.0%	17.3%	1.8%	100%	4.6割
月に数回	8.3%	34.1%	35.1%	20.9%	1.6%	100%	4.9割
年に数回	4.1%	32.2%	31.0%	29.8%	2.9%	100%	5.3割
ほとんど利用しない	1.8%	26.3%	36.0%	27.2%	8.8%	100%	5.7割

インターネット情報の引用度							
	1-2割	3-4割	5-6割	7-8割	9-10割	100%	平均(10割中)
ほぼ毎日	19.5%	34.1%	22.0%	22.0%	2.4%	100%	4.4割
週に数回	32.1%	37.4%	19.2%	10.6%	0.8%	100%	3.7割
月に数回	25.9%	41.5%	25.9%	5.8%	0.8%	100%	3.7割
年に数回	20.5%	37.3%	27.7%	13.3%	1.2%	100%	4.2割
ほとんど利用しない	12.1%	42.1%	35.5%	6.5%	3.7%	100%	4.4割

前節における検証で明らかとなったように、本学生による大学図書館の利用の有無にかかわらず、インターネットを参考・引用した形でのレポート制作に取り掛かる学生は多数派であることを考慮すれば、図表5-2の結果の通り、図書館利用度とレポート作成時におけるネット参照度および引用度というこの両者の関係は無相関であり、一概に両者の因果・相関関係を示すことができなかった。ただし、最大を10点満点とし、その得点化された数値を各利用率において平均化した結果のみ

をみると、“ほぼ毎日”利用する学生を除いて、図書館利用率とインターネット情報の参考度ならびに引用度は、微弱な負の相関関係にあり、大学図書館の利用率が低下するほど、インターネットの参照度ならびに引用度が若干高まることが確認された。

以上から、図書館利用率とインターネット情報の参考度ならびに引用度は、一部微弱な負の相関関係が確認されたが、全体的には一概に両者の因果・相関関係を示すことができなかった。その理由として、①大学図書館の利用の有無に問わず、多くの学生がインターネットを参照・引用しながらレポート作成に取り掛かること、②引用・参照する内容そのものについてアンケートを取っていないこと、③アンケートでは参照度や引用度という割合しか尋ねておらず、量的な側面は調査していない、などがあげられる。

(3) 図書館利用頻度とレポート作成時におけるネット利用率に関する小括

本章では、図書館利用率とレポート作成時におけるネット利用率との関係について考察を行った。その結果、両者の関係において、一部微弱な負の相関関係が確認されたが、全体的には一概に両者の因果・相関関係を示すことができなかった。また大学図書館の利用の有無に問わず、本校における多くの学生がインターネットを参照・引用しながらレポート作成に取り掛かることが明らかになった。

インターネットの情報源のなかには、行政府が取りまとめる各種統計資料や企業業績にかかわる経営財務指標など、レポートを作成するうえで必要な資料もなかには含まれることから、両者の関係は必ずしも負の相関関係にならない。そのような反省を踏まえて、今後継続したアンケートを実施する際は、参照・引用するインターネットにおける情報源の質的・量的な側面を問う設問をアンケートのなかに取り入れるべきであろう。

6. 総 括

本論では、他大学で実施されている大学図書館に関するアンケート調査を参考にしながら、本佐世保校で行ったアンケート調査を実施し、本学生における長崎県立大学附属図書館の利用実態について解析を行った。本論で明らかになったことは、以下の、①図書館利用頻度を高める要因は、順番に“資格取得に向けた勉強量（時間）”、“書物を読む時間の長さ”、“講義時間外に行う読書時間の長さ”、“食堂・学生会館利用頻度”、であること、②図書館利用頻度を低下させる要因は、順番に“自

宅・友人宅利用頻度”、“講義時間外の携帯電話利用時間の長さ”、“アルバイト時間の長さ”、“部室利用頻度”、であること、③本校における半数以上の学生は、普段学内で自学を行わないこと、④学内で自学を行う諸行動と図書館利用率とは、正の相関関係にあり、資格取得など目標が定められている自学活動の方がその利用率がより高まること、⑤少数派であるが、大学図書館の利用頻度が高い学生ほど、講義と図書館が連動した形で学習する傾向が高いこと、⑥図書館利用率とレポート作成時におけるネット利用率との関係について、因果あるいは相関関係を示すことができなかったこと、⑦大学図書館の利用の有無に問わず、本校における多くの学生がインターネットを参照・引用しながらレポート作成に取り掛かること、の7つに集約される。

今後、本学学生の本附属図書館利用率を向上させるためには、学生の主体的な学びを促進させる環境作りが必要となろう。先行研究や本分析結果から示されているように、①資格取得活動の推奨、②シラバスや講義を通じた推薦図書のおすすめ、③レポートや課題と推薦図書との連動、④読書習慣を目指したプログラム作り、などである。とくに学生が自主的な学びを形成されていない場合は、③のようにレポートなど課題制作にあたり、図書館蔵書の引用を義務付ける、などの“強制的学び”や課題の提出を求めることや成績を厳格化する、などの“脅迫的学び”が必要になるかもしれない。

謝 辞

本研究を進めるにあたり、佐世保校に在籍する全学生にアンケート調査を実施されなければ本研究は実現出来なかった。アンケート調査に協力していただいた教職員ならびに学生等の関係者の皆様へ心からお礼を申し上げます。何より当時、附属図書館長であった柳田芳伸教授の本学や本附属図書館・本アンケート調査に対する熱意や実行力がなければ、これらの調査が実現しなかった。改めて深く感謝の意を表します。

注

- 1) 各大学図書館のアンケート調査の詳細については、各大学図書館のHPを参照されたい。
- 2) 「ラーニング・コモンズ」については、米澤誠氏がカレントアウェアネスのNo. 298 (2006年9月20日)に「インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ」を参照されたい。
- 3) 木下他 (2007) 「学生の「学びの形成」を支援する図書館」、32頁。
- 4) 同上書、32頁。
- 5) 同上書、31-32頁。
- 6) 同上書、33-38頁。

⁷⁾ 同上書、31頁。

参考文献

木下裕子・伊藤昭・大島英穂・鳥井真木(2007)「学生の「学びの形成」を支援する図書館」『大学行政・研究センター大学政研究』第2巻、31-45頁。

津野正恵(2011)「大学生の学びの在り方に関する研究：大学図書館の図書館利用教育後の検証」『情報学』第8巻第1号、38-48頁。

米澤誠(2006)「インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援」『カレントアウェアネス』第289巻、9-12頁。

アンケート調査票

<基本事項>

所属 (経済学科 ・ 地域政策学科 ・ 流通・経営学科)

学年 (1回生 ・ 2回生 ・ 3回生 ・ 4回生 ・ 大学院1回生 ・ 大学院2回生)

性別 (男性 ・ 女性)

1. 図書館の利用頻度について

- ①ほぼ毎日 ②週に数回 ③月に数回 ④年に数回 ⑤ほとんど利用しない
⑥利用したことがない ⑦以前利用していたが最近利用しなくなった

(設問1で①～④を選んだ方のみ)

・図書館を利用する目的は何ですか(複数選択可)

- ①講義の準備・学習 ②講義の小テスト・レポート ③ゼミの調べ物 ④文献複写
⑤試験対策 ⑥検定・資格の勉強 ⑦AV資料の利用 ⑧教養・娯楽(雑誌・新聞以外)
⑨雑誌を読むため ⑩新聞を読むため ⑪休憩 ⑫電子ジャーナル・データベースの利用
⑬その他()

・図書館を利用する時間帯は主にいつですか

- ①9～12時 ②12～17時 ③17～22時 ④22～23時 ⑤その他()

(設問1で⑤～⑦を選んだ方)

・図書館をほとんど利用しない。または利用したことがない理由は何ですか(複数回答可)

- ①利用する時間がない ②行くのが面倒 ③利用したい資料がない
④近くの別の図書館を利用する ⑤自分で購入する
⑥本は読まずにインターネットで調査する ⑦図書館の雰囲気が苦手
⑧利用しなくても支障がない ⑨その他()

2. 図書館の利用の仕方について

- ①一人で利用することが多い ②グループで利用することが多い ③どちらとも言えない

3. 図書館のサービスについて

1) 学生希望図書購入サービスについて

- ①良く利用している ②ときどき利用している ③ほとんど利用しない ④知らない

2) 他の大学の貸借・複写サービスについて

- ①良く利用している ②ときどき利用している ③ほとんど利用しない ④知らない

3) 電子ジャーナルやデータベースについて

- ①良く利用している ②ときどき利用している ③ほとんど利用しない ④知らない

4) AV 資料 (ビデオ・DVD・CD) について

- ①良く利用している ②ときどき利用している ③ほとんど利用しない ④知らない

5) 図書館だよりについて

- ①良く読んでいる ②ときどき読んでいる ③ほとんど読まない ④知らない

6) 選書ツアーコーナーについて

- ①良く利用している ②ときどき利用している ③ほとんど利用しない ④知らない

7) 新刊ベストセラーコーナーについて

- ①良く利用している ②ときどき利用している ③ほとんど利用しない ④知らない

8) 地域学習室について

- ①良く利用している ②ときどき利用している ③ほとんど利用しない ④知らない

4. 図書館環境 (印象) について

1) キャンパスにおける場所について

- ①満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満 (理由:)

2) 施設・設備について

- ①満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満 (理由:)

3) 資料の配置について

- ①満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満 (理由:)

4) 図書の整備状態について

- ①満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満 (理由:)

5) 図書館スタッフの対応について

- ①満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満 (理由:)

6) 5) のあなたが図書館スタッフに求めるサービスのうち最も重視するものを選んでください。

- ①親切で迅速な接客・接遇 ②課題・レポートなどの資料収集の相談
 ③館内マナーの徹底 ④資料が所定の場所にあるよう整理されていること
 ⑤図書館ガイダンス ⑥特集・イベント企画の実施
 ⑦その他 ()

7) 図書館内の雰囲気はどう感じているか

- ①満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満 (理由:)

5. 今後の図書館について

1) 図書館主催のイベント

- ①増やしてほしい ②満足 ③特に必要ない
 ④その他: 増やすならどんなイベントを希望するかなど ()

2) 講義の合間などの時間をどこで過ごしていますか?

- ①使っていない講義室 ②部室 ③学生食堂 ④学生会館2階 ⑤自宅・アパートに帰る
 ⑥友人の家 ⑦情報処理室 ⑧図書館 ⑨その他 ()

3) 今後の図書館についての希望 (複数回答可)

- ①一人で勉強するのに便利な環境 ②グループワークに便利な環境 ③くつろげる環境
④飲食できる環境 ⑤インターネット環境 ⑥喫煙スペース
⑦学習支援を受けられる環境 ⑧実用書や息抜きに読める本
⑨その他 ()

6. レポート作成時における資料の引用実態について

- 講義に関するレポートを課された際、あなたは次のうち、どのようにして取り組みますか
①指定図書を含む講義内容のみ参考にする ②講義内容+インターネット情報から引用する
③講義内容+図書館で調べた資料から引用する ④すべての資料を引用する
⑤その他 ()

(設問6で②~④を選んだ方のみ)

引用のする資料のうち、インターネット情報をどの程度参考にしますか、割合でお答えください。

1割・2割・3割・4割・5割・6割・7割・8割・9割・10割

引用のする資料のうち、インターネット情報をどの程度引用しますか、割合でお答えください。

1割・2割・3割・4割・5割・6割・7割・8割・9割・10割

7. 書物との出会い

- ①インターネット検索から ②新聞から ③書店から ④図書館から

8. 学習(自学)場所について

1) 普段、学内で学習(自学)をおこなっていますか。

- ①はい ②いいえ (理由:)

(設問8で①を選んだ方のみ)

具体的にどこで学習(自学)しているか

- ① () ② () ③ ()

9. 学生生活における関心事について

1) 学生生活における情報源の接触時間について (1日あたり)

- ・インターネット (PC・モバイル含む)
 - ①利用しない ②1時間未満 ③1～3時間 ④3時間以上
- ・新聞・雑誌
 - ①閲覧しない ②1時間未満 ③1～3時間 ④3時間以上
- ・テレビ
 - ①視聴しない ②1時間未満 ③1～3時間 ④3時間以上
- ・書物
 - ①読まない ②1時間未満 ③1～3時間 ④3時間以上

2) 学生生活における関心事 (1日あたり)

- ・アルバイト時間
 - ①働いていない ②3時間未満 ③3～6時間 ④6時間以上
- ・クラブ活動
 - ①所属していない ②3時間未満 ③3～6時間 ④6時間以上
- ・資格取得
 - ①勉強していない ②3時間未満 ③3～6時間 ④6時間以上
- ・知的探求
 - ①興味がない ②3時間未満 ③3～6時間 ④6時間以上

3) 課外を過ごす場 (講義がある日のうち、講義がない時間帯において過ごす場)

- ・食堂・学生会館 (食事以外)
 - ①全く利用しない ②たまに利用する ③よく利用する
- ・部室
 - ①全く利用しない ②たまに利用する ③よく利用する
- ・自宅・友人宅
 - ①全く利用しない ②たまに利用する ③よく利用する
- ・図書館
 - ①全く利用しない ②たまに利用する ③よく利用する

4) 課外を過ごす際、おこなうこと (講義がある日のうち、講義がない時間帯においておこなうこと)

- ・携帯電話 (スマホ・タブレット含む)
 - ①利用しない ②1時間未満 ③1～3時間 ④3時間以上
- ・間食
 - ①間食をしない ②たまに間食をする ③よく間食をする
- ・友人との会話
 - ①会話をしない ②たまに会話をする ③よく会話をする
- ・読書
 - ①読まない ②1時間未満 ③1～3時間 ④3時間以上

10. 林檎と蜜柑に○印をつけてください (複数回答可)

- ①桃 ②林檎 ③葡萄 ④梨 ⑤栗 ⑥檸檬 ⑦蜜柑

11. 附属図書館について要望等があれば、記入してください。

学年

	度数	%
1 回生	292	25.1
2 回生	339	29.1
3 回生	330	28.4
4 回生	202	17.4
合計	1163	100.0
欠損値	3	
合計	1166	

所属

	度数	%
経済学科	415	35.6
地域政策学科	356	30.6
流通・経営学科	394	33.8
合計	1165	100.0
欠損値	1	
合計	1166	

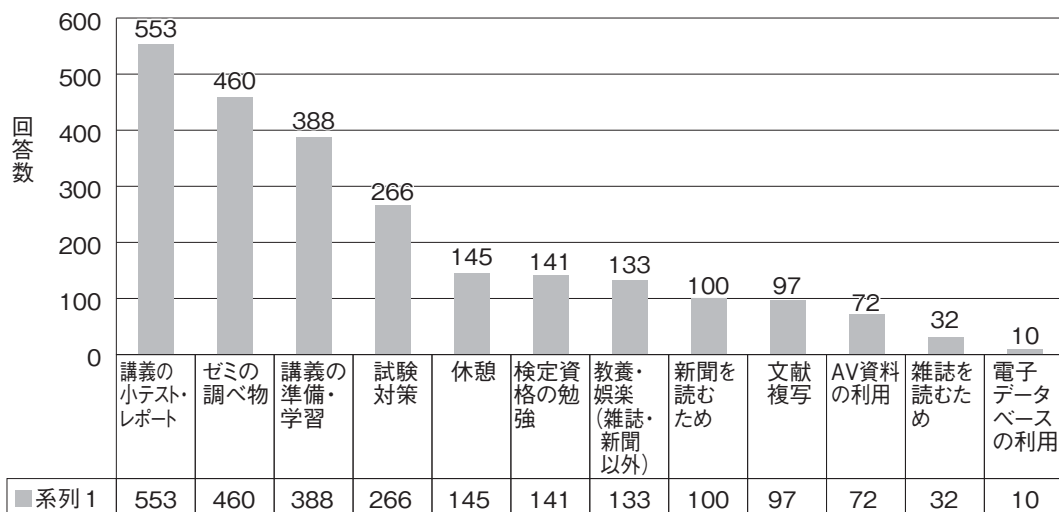
性別

	度数	%
男性	708	61.0
女性	452	39.0
合計	1160	100.0
欠損値	6	
合計	1166	

Q1 図書館の利用頻度

	度数	%
ほぼ毎日	49	4.2
週に数回	303	26.2
月に数回	437	37.8
年に数回	184	15.9
ほとんど利用しない	130	11.3
利用したことがない	11	1.0
以前利用していたが最近利用しなくなった	41	3.5
合計	1155	100.0
欠損値	11	
合計	1166	

SQ 1 - 1 図書館を利用する目的は



SQ 1 - 1 - 13 利用目的—その他

	度数	%
無回答	1135	97.1
卒論製作のため	13	.2
トイレ	4	.3
読書	3	.3
DVD 見るため	1	.1
アルバイト	1	.1
インターネット	1	.1
ゼミの話し合い	1	.1
映画を見る	1	.1
個室を利用するため	1	.1
小説を借りるため	1	.1
貸し出し期間が短い	1	.1
中休みのどこか	1	.1
本を借りるため	1	.1
合計	1166	100.0

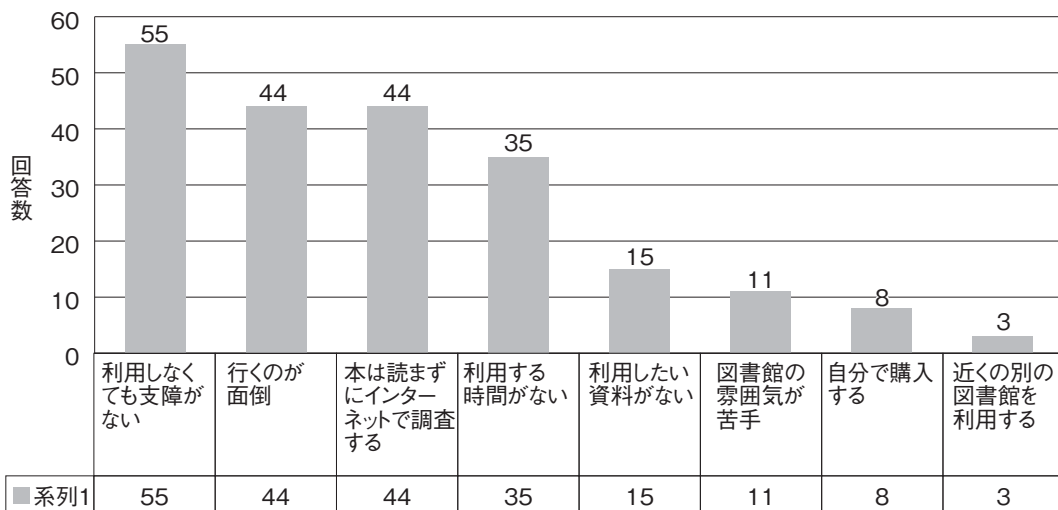
SQ 1 - 2 - その他

	度数	%
無回答	1151	98.6
空きコマ	9	.1
特に決まっていない 講義の間	3	.1
9時～18時	1	.1
ほぼ1日	1	.1
昼休み	1	.1
合計	1166	100.0

SQ 1 - 2 図書館を利用する時間帯

	度数	%
9-12時	29	3.7
12-17時	506	65.0
17-22時	232	29.8
22-23時	1	.1
その他	10	1.3
合計	778	100.0
欠損値	388	
合計	1166	

SQ 1 - 3 図書館を利用しない理由



SQ 1 - 3 - その他

	度数	%
無回答	1154	99.0
テスト期間1カ月前には利用した。	1	.1
なんとなく	1	.1
レポート等でつかうときのためのため	1	.1
公務員試験が終わり、頻度が減ったため	1	.1
行ったことがないから今更行きにくい	1	.1
講義以外の勉強	1	.1
試験がないから	1	.1
人が嫌だ	1	.1
図書館で働いている人が苦手	1	.1
足が悪い	1	.1
勉強しに行っていたが勉強することが減ったから。	1	.1
本を読む気がしない	1	.1
合計	1166	100.0

Q2 図書館の利用の仕方

	度数	%
一人で利用することが多い	852	74.0
グループで利用することが多い	141	12.2
どちらとも言えない	159	13.8
合計	1152	100.0
欠損値	14	
	1166	

Q3-2 他大学の貸借・複写サービス

	度数	%
良く利用している	16	1.4
時々利用している	96	8.2
ほとんど利用しない	658	56.4
知らない	390	33.4
欠損値	6	.5
合計	1166	100.0

Q3-1 学生希望図書購入サービス

	度数	%
良く利用している	7	.6
時々利用している	37	3.2
ほとんど利用しない	584	50.3
知らない	533	45.9
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q3-4 AV資料

	度数	%
良く利用している	44	3.8
時々利用している	265	22.8
ほとんど利用しない	765	65.3
知らない	87	7.5
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q3-3 電子ジャーナルやデータベース

	度数	%
良く利用している	39	3.4
時々利用している	187	16.1
ほとんど利用しない	562	48.4
知らない	373	32.1
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q3-6 選書ツアーコーナー

	度数	%
良く利用している	30	2.6
時々利用している	153	13.2
ほとんど利用しない	667	57.5
知らない	311	26.8
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q3-5 図書だより

	度数	%
良く利用している	6	.5
時々利用している	69	5.9
ほとんど利用しない	707	60.9
知らない	379	32.6
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q3-8 地域学習室

	度数	%
良く利用している	23	2.0
時々利用している	120	10.3
ほとんど利用しない	751	64.7
知らない	267	23.0
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q3-7 新刊ベストセラーコーナー

	度数	%
良く利用している	31	2.7
時々利用している	211	18.2
ほとんど利用しない	716	61.7
知らない	203	17.5
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q4-1 その理由

	度数	%
無回答	1154	99.0
サービスが充実しているため	1	.1
外観も内観もキレイ	1	.1
街まで少し遠い	1	.1
教室から遠いから	1	.1
近いから	1	.1
高校生がうるさいため	1	.1
困らない	1	.1
中央にあるので行きやすい	1	.1
特に思うことはない	1	.1
別がない	1	.1
本の種類が充実しているから	1	.1
良い	1	.1
合計	1166	100.0

Q4-1 校内における図書館の場所

	度数	%
満足	393	33.9
ほぼ満足	306	26.4
普通	441	38.0
やや不満	10	1.6
不満	3	.3
合計	1161	100.0
欠損値	5	
合計	1166	

Q4-2 その理由

	度数	%
無回答	1139	97.7%
一人で勉強できるような仕切りの ついた机やスペースがもっとあつ ても良いと思う。	3	0.3%
空調が調節できるようにしてほしい	3	0.3%
掃除が行き届いているため	3	0.3%
エレベーターが使えないから	2	0.2%
しっかりしていていいと思ったから	2	0.2%
土日の開館があれば、助かる人も 多いと思う	2	0.2%
特に思うことはない	2	0.2%
22時までしか開いてないこと	1	0.1%
4階の本の臭いがきつい	1	0.1%
トイレが流れにくい	1	0.1%
もっと広くしてほしい	1	0.1%
館内のドアからベランダに出られ る様にしてほしい。外の空気を吸 うため。	1	0.1%
規則が厳しすぎる。多様にディス カッションできる場を	1	0.1%
困らない	1	0.1%
静かで勉強しやすい	1	0.1%
文庫本が少ない	1	0.1%
本の配置が分かりやすいから	1	0.1%
合計	1166	100.0%

Q4-2 図書館の施設・設備

	度数	%
満足	334	28.8
ほぼ満足	395	34.1
普通	387	33.4
やや不満	32	2.8
不満	12	1.0
合計	1160	100.0
欠損値	6	
合計	1166	

Q4-3 その理由

	度数	%
無回答	1155	97.6
あまり利用しないのでわからない	2	.1
903? 番代本が探しにくい	1	.1
たまたま配置が違うものがあるから	1	.1
どこに何があるのかわからない	1	.1
わかりやすく配置されているから	1	.1
経済学部ではあるが教職関係の本や勉強以外の趣味に関する本が少ない。また、古い。	1	.1
見にくい	1	.1
困らない	1	.1
新書の置き場 取りにくい探しにくい	1	.1
良い	1	.1
合計	1166	100.0

Q4-4 その理由

	度数	%
無回答	1150	98.5
あまり利用しないためわからない	2	.1
きれいに整備されている	2	.1
3階が暑かったり、寒かったりする。	1	.1
パソコンで調べた情報と、実際(本の場所)が違うことが多い	1	.1
もっと多くの勉強に使える本があればいいと思います。	1	.1
わからない	1	.1
学生証がないと入れない所があるから	1	.1
経済以外の分野の図書がほぼない	1	.1
古い本の状態が悪いので電子化したりしてほしい	1	.1
整っていると思う	1	.1
特に思うことはない	1	.1
文庫本を増やしてほしい	1	.1
別がない	1	.1
本について問い合わせただけなのに、とても面倒くさそうな対応をされる	1	.1
良い	1	.1
合計	1166	100.0

Q4-3 資料の配置

	度数	%
満足	262	22.6
ほぼ満足	289	25.0
普通	548	47.3
やや不満	53	4.6
不満	6	.5
合計	1158	100.0
欠損値	8	
合計	1166	

Q4-4 図書の整備状態

	度数	%
満足	322	27.8
ほぼ満足	360	31.0
普通	449	38.7
やや不満	25	2.2
不満	4	.3
合計	1160	100.0
欠損値	6	
合計	1166	

Q4-5 その理由

	度数	%
無回答	1126	96.6
怖い人がいた。	4	.3
司書が凄い上から目線	4	.3
接客態度が悪い人がいる(学生バイトではない人)	4	.3
あまり利用しないから	2	.2
愛想がない	1	.1
うるさいと言うが、自分たちは話している時がある	1	.1
カウンター内の会話が目立ちます	1	.1
コピー機の扱い方が分からなかった	1	.1
たときの説明がとても不親切だった。	1	.1
たまに対応の悪い人がいる	1	.1
やさしい	1	.1
わからないことがあれば対応してくれる	1	.1
愛想悪すぎ。毎回気分悪くなる	1	.1
一人対応の悪い人がいる	1	.1
学生スタッフ以外が威圧的	1	.1
警備員さんの話し声がうるさい時がある	1	.1
嫌いな司書がいる	1	.1
言葉づかいと態度が悪い職員さんがいる	1	.1
自分の勉強するなよ。態度悪い人がいる。	1	.1
常に上からモノをいうスタンス、アルバイトの学生の方が丁寧で素敵です。	1	.1
親切であるから	1	.1
生徒だからといってなれなれしくはなしにかけてくる人がいる	1	.1
声が大きいの、私語をカウンターでする。	1	.1
卒論の貸出を分かっているスタッフさんがいた。	1	.1
卒論の本のとりよせや希望図書の提案をして下さる。	1	.1
対応が悪い、感じが悪い	1	.1
対応が事務的すぎて不快	1	.1
対等語を使ってくるなど言葉遣いがよくない	1	.1
態度がものすごくえらいそう	1	.1
特に思うことはない	1	.1
優しい方もいるが、態度が悪いスタッフもいるためあまりスタッフと関わりたくないと思う	1	.1
合計	1166	100.0

Q4-5 図書スタッフの対応

	度数	%
満足	278	24.0
ほぼ満足	298	25.8
普通	460	39.8
やや不満	82	7.1
不満	38	3.3
合計	1156	100.0
欠損値	10	
合計	1166	

Q4-6-7 その他

	度数	%
無回答	1154	99.0
特になし	7	.6
そのままいい	1	.1
ほしい資料がいつでも借りることができること	1	.1
最低限のマナー、給料をもらっているなら自分のレポートを作成するのはやめてほしい。	1	.1
静けさ	1	.1
丁寧な対応	1	.1
合計	1166	100.0

Q4-6 図書スタッフに最も期待するサービス

	度数	%
親切で迅速な接客・接遇	583	50.0
資料が所定の場所にあるよう整理されていること	216	18.5
課題・レポートなどの資料収集の相談	175	15.0
館内マナーの徹底	92	7.2
無回答	56	4.8
特集・イベント企画の実施	17	1.5
図書ガイダンス	8	.7
その他	18	1.7
合計	1166	100.0

Q4-7 その理由

	度数	%
無回答	1143	98.0%
高校生が多くてうるさい	7	0.6%
静かで落ち着いた雰囲気だから	7	0.6%
嫌いな司書がいるから	2	0.2%
カウンターの人が、普通の声の大きさと話しているのが、ときどきあり、うるさく感じることもある。	1	0.1%
しゃべっている人たちがいて、うるさい時がある	1	0.1%
ふつうにいい	1	0.1%
もともとあの雰囲気が苦手	1	0.1%
ものすごく小さいボリュームで何かBGM流してみても？（階を限定するなどして）	1	0.1%
過ごしやすく集中できる	1	0.1%
従業員に不満	1	0.1%
合計	1166	100.0

Q4-7 図書館内の雰囲気について

	度数	%
満足	312	27.5
ほぼ満足	401	35.4
普通	386	34.0
やや不満	28	2.5
不満	7	.6
合計	1134	100.0
欠損値	32	
合計	1166	

Q5-1 図書館主催のイベントについて

	度数	%
増やしてほしい	71	6.2
満足	266	23.3
特に必要ない	800	70.2
その他	3	.3
合計	1140	100.0
欠損値	26	
合計	1166	

Q5-2-9 その他

	度数	%
無回答	1153	98.9
自習室	4	.3
合間の時間がない	3	.3
サークルボックス	1	.1
その時々による	1	.1
ブラブラする	1	.1
家	1	.1
喫煙所	1	.1
部室	1	.1
合計	1166	100.0

Q5-2 講義の間に過ごす場所

	度数	%
自宅・アパートに帰る	360	30.9
学生食堂	206	17.7
無回答	164	14.1
図書館	131	11.2
学生会館2階	130	11.1
部室	97	8.3
使っていない講義室	31	2.7
情報処理室	27	2.3
友人の家	15	1.3
その他	5	.4
合計	1166	100.0

Q5-3-2 今後の図書館についての希望
グループワークに便利な環境

	度数	%
いいえ	699	82.1
はい	152	17.9
合計	851	100.0
欠損値	315	
合計	1166	

Q5-3-1 今後の図書館についての希望
一人で勉強するのに便利な環境

	度数	%
いいえ	341	34.2
はい	657	65.8
合計	998	100.0
欠損値	168	
合計	1166	

Q5-3-4 今後の図書館についての希望
飲食できる環境

	度数	%
いいえ	566	63.8
はい	322	36.2
合計	888	100.0
欠損値	278	
合計	1166	

Q5-3-3 今後の図書館についての希望
くつろげる環境

	度数	%
いいえ	557	62.7
はい	332	37.3
合計	889	100.0
欠損値	277	
合計	1166	

Q5-3-6 今後の図書館についての希望
喫煙スペース

	度数	%
いいえ	765	93.6
はい	52	6.4
合計	817	100
欠損値	349	
合計	1166	

Q5-3-5 今後の図書館についての希望
インターネット環境

	度数	%
いいえ	644	75.2
はい	212	24.8
合計	856	100.0
欠損値	310	
合計	1166	

Q5-3-8 今後の図書館についての希望
実用書や息抜きに読める本

	度数	%
いいえ	690	81.2
はい	160	18.8
合計	850	100.0
欠損値	316	
合計	1166	

Q5-3-7 今後の図書館についての希望
学習支援を受けられる環境

	度数	%
いいえ	776	96.0
はい	32	4.0
合計	808	100.0
欠損値	358	
合計	1166	

Q5-3-9 今後の図書館についての希望
その他

	度数	%
無回答	1144	98.1
特になし	5	.5
飲食できる自習室	3	.3
いまのままでいい	1	.1
グループ学習室を増やして欲しい	1	.1
パソコンを利用できる環境	1	.1
マンガ本	1	.1
英語多読コーナーを2階に移してほしい	1	.1
学術書や専門書のさらなる充実	1	.1
最新の映画	1	.1
司書のおすすめ本コーナーも作ってほしい	1	.1
試験前の混雑をどうにかしてほしい	1	.1
親切な接客	1	.1
専門書が欲しい	1	.1
蔵書拡張	1	.1
日祝の開館	1	.1
無料のWi-Fi回線	1	.1
合計	1166	100.0

Q6 その他

	度数	%
無回答	1161	99.6
インターネット+図書館資料	1	.1
まだ利用したことがない	1	.1
指定図書+インターネット	1	.1
欠損値	2	.2
合計	1166	100.0

Q6 レポート作成時における資料の引用実態

	度数	%
講義内容+インターネット情報から引用する	556	47.7
すべての資料を引用する	249	21.4
講義内容+図書館で調べた資料から引用する	217	18.6
指定図書を含む講義内容のみ参考ににする	88	7.5
無回答	54	4.6
その他	2	.2
合計	1166	100.0

SQ6-1-2 引用する資料のうち、インターネット情報をどの程度引用するか

	度数	%
1割	84	8.3
2割	170	16.8
3割	237	23.4
4割	159	15.7
5割	180	17.8
6割	75	7.4
7割	65	6.4
8割	28	2.8
9割	11	1.1
10割	4	.4
合計	1013	100.0
欠損値	153	
合計	1166	

SQ6-1-1 引用する資料のうち、インターネット情報をどの程度参考にするか

	度数	%
1割	18	1.7
2割	67	6.4
3割	185	17.7
4割	167	16.0
5割	225	21.6
6割	119	11.4
7割	157	15.0
8割	73	7.0
9割	23	2.2
10割	10	1.0
合計	1044	100.0
欠損値	122	
合計	1166	

Q8 普段、学内で学習しているか

	度数	%
はい	500	43.8
いいえ	641	56.2
合計	1141	100.0
欠損値	25	
合計	1166	

Q7 書物との出会い

	度数	%
書店から	434	39.3
インターネット検索から	403	36.5
図書館から	249	22.6
新聞から	18	1.6
合計	1104	100.0
欠損値	62	
合計	1166	

Q8-1 普段、学内で学習する理由

	度数	%
無回答	859	95.8%
家ではやる気がでないから	10	1.1%
静かで集中できるから	6	0.7%
一人が集中できるから	4	0.4%
卒論に必要な資料がそろっているから	4	0.4%
資格の勉強のため	3	0.3%
家よりも資料が豊富で、集中できるから	2	0.2%
あいてる時間があるから	1	0.1%
家にいればそれだけで電気代等がかかってしまうから	1	0.1%
公務員試験に向けての勉強	1	0.1%
試験勉強のため	1	0.1%
資格試験対策、卒論作成	1	0.1%
集中して勉強できるから。	1	0.1%
図書館でするから	1	0.1%
図書館や、喫茶店で学習するようにしているから。	1	0.1%
勉強しやすい環境だから	1	0.1%
合計	897	100.0%

Q8-1 普段、学内で学習しない理由

	度数	%
無回答	859	77.4%
自宅で行うことが多い	127	11.4%
テスト前以外、あまりすることがない。	11	1.0%
バイトなどで時間が取れないため	10	0.9%
自宅の方が集中できるから	10	0.9%
あまり必要性を感じないから	8	0.7%
面倒だから	8	0.7%
落ち着いて出来ないから	7	0.6%
やる気がないから	7	0.6%
人の目が気になる	5	0.5%
する場所があまりない	4	0.4%
忙しいから	3	0.3%
うるさいから	3	0.3%
目標がないため	3	0.3%
暇があるなら家に帰る	3	0.3%
学校に来る機会が少ない	3	0.3%
空きコマが少ないから	3	0.3%
行く意味がない	3	0.3%
あまり集中できないから	2	0.2%
する時間がない	2	0.2%
する場所や時間がない	2	0.2%
家や学外でするので	2	0.2%
課題がない	2	0.2%
友達といっても勉強できないから、するなら家です。	2	0.2%
学生会館2階でおこなうから	2	0.2%
4年生になりあまり学校に来なくなったため	1	0.1%
趣味をやっているため	1	0.1%
バイトや部活があるため	1	0.1%
バイトや友達と遊びに行くため	1	0.1%
パソコン室を利用しているから	1	0.1%
ぼーっとしていることが多いため	1	0.1%
学校で聞いている内容で充分	1	0.1%
学習せずに友だちと話しているから	1	0.1%
学内では、講義の時しかいないから	1	0.1%
喫茶店が昔からの自学スペースなので	1	0.1%
図書館が苦手だから	1	0.1%
自学をおこなうきっかけがない	1	0.1%
自宅が近いため帰った方がいい	1	0.1%
実家にいるため	1	0.1%
授業があまりないため	1	0.1%
授業の合間には休みたいから	1	0.1%
眠い	1	0.1%
夜遅くに学習することが多いから	1	0.1%
友だちとの時間の為	1	0.1%
合計	1110	100.0%

SQ8-1-2 学内の何処で学習しているか②

	度数	%
無回答	934	80.1
図書館	76	6.5
学生会館2階	35	3.0
学生食堂	25	2.1
講義室	24	2.1
情報処理室	24	2.1
部室	11	.9
自宅	9	.8
306の自習室	6	.5
AV自習室	6	.5
喫茶室	6	.5
友人宅	5	.4
グループ学習室	2	.2
バイト先	1	.1
バス	1	.1
地域学習室	1	.1
合計	1166	100.0

SQ8-1-1 学内の何処で学習しているか①

	度数	%
無回答	666	57.1
図書館	278	23.8
自宅	100	8.6
学生会館2階	34	2.9
情報処理室	26	2.2
学生食堂	17	1.5
食堂	11	.9
講義室	10	.9
自習室	10	.9
部室	6	.5
地域学習室	4	.3
電車やバスの移動時間	2	.2
カフェ	1	.1
佐々図書館	1	.1
合計	1166	100.0

SQ8-1-3 学内の何処で学習しているか③

	度数	%
無回答	1102	94.5
学生会館2F	16	1.4
学生食堂	11	.8
情報処理室	9	.8
図書館	9	.8
講義室	5	.4
自宅	4	.3
部室	4	.3
カフェ	2	.2
自習室	2	.2
図書館の地域資料室	2	.2
家の近くの図書館	1	.1
合計	1166	100.0

Q9-1-2 学生生活における関心事

1) 学生生活における情報源の接触時間について
新聞・雑誌

	度数	%
閲覧しない	530	46.6
1時間未満	555	48.8
1-3時間	48	4.2
3時間以上	4	.4
合計	1137	100.0
欠損値	29	
合計	1166	

Q9-1-1 学生生活における関心事

1) 学生生活における情報源の接触時間について
インターネット(PC・モバイル)

	度数	%
利用しない	37	3.2
1時間未満	217	18.7
1-3時間	509	43.3
3時間以上	405	34.9
合計	1162	100.0
欠損値	4	
合計	1166	

Q9-1-4 学生生活における関心事

1) 学生生活における情報源の接触時間について
書物

	度数	%
読まない	434	37.9
1時間未満	556	48.6
1-3時間	140	12.2
3時間以上	14	1.2
合計	1144	100.0
欠損値	22	
合計	1166	

Q9-2-2 学生生活における関心事

2) 学生生活における関心事(1日あたり)
クラブ活動

	度数	%
所属していない	391	33.8
3時間未満	616	53.2
3-6時間	142	12.3
6時間以上	9	.8
合計	1158	100.0
欠損値	8	
合計	1166	

Q9-2-3 学生生活における関心事

2) 学生生活における関心事(1日あたり)
資格取得

	度数	%
勉強していない	794	68.4
3時間未満	307	26.5
3-6時間	53	4.3
6時間以上	6	.5
合計	1160	100.0
欠損値	6	
合計	1166	

Q9-3-2 学生生活における関心事

3) 課外を過ごす場
部室

	度数	%
全く利用しない	725	63.1
たまに利用する	276	24.0
よく利用する	146	12.7
合計	1149	100.0
欠損値	19	
合計	1166	

Q9-1-3 学生生活における関心事

1) 学生生活における情報源の接触時間について
テレビ

	度数	%
視聴しない	169	14.7
1時間未満	393	34.3
1-3時間	464	40.5
3時間以上	120	10.5
合計	1146	100.0
欠損値	20	
合計	1166	

Q9-2-1 学生生活における関心事

2) 学生生活における関心事(1日あたり)
アルバイト時間

	度数	%
働いていない	296	25.4
3時間未満	123	10.5
3-6時間	604	51.8
6時間以上	136	11.7
欠損値	7	.6
合計	1166	100.0

Q9-2-4 学生生活における関心事

2) 学生生活における関心事(1日あたり)
知的探求

	度数	%
興味がない	488	42.2
3時間未満	605	52.3
3-6時間	52	4.5
6時間以上	11	1.0
合計	1156	100.0
欠損値	10	
合計	1166	

Q9-3-1 学生生活における関心事

3) 課外を過ごす場
食堂・学生会館

	度数	%
全く利用しない	170	14.8
たまに利用する	606	52.6
よく利用する	376	32.6
合計	1152	100.0
欠損値	14	
合計	1166	

Q9-3-4 学生生活における関心事

3) 課外を過ごす場

図書館

	度数	%
全く利用しない	242	21.0
たまに利用する	753	65.4
よく利用する	157	13.6
合計	1152	100.0
欠損値	14	
合計	1166	

Q9-4-2 学生生活における関心事

4) 課外を過ごす際、おこなうこと

間食

	度数	%
間食をしない	212	18.4
たまに間食をする	789	68.3
よく間食をする	152	13.2
合計	1153	100.0
欠損値	13	
合計	1166	

Q9-4-4 学生生活における関心事

4) 課外を過ごす際、おこなうこと

読書

	度数	%
読まない	574	49.6
1時間未満	480	41.5
1-3時間	97	8.4
3時間以上	6	.5
合計	1157	100.0
欠損値	9	
合計	1166	

Q9-3-3 学生生活における関心事

3) 課外を過ごす場

自宅・友人宅

	度数	%
全く利用しない	144	12.5
たまに利用する	412	35.8
よく利用する	596	51.7
合計	1152	100.0
欠損値	14	
合計	1166	

Q9-4-1 学生生活における関心事

4) 課外を過ごす際、おこなうこと

携帯電話

	度数	%
利用しない	21	1.8
1時間未満	301	25.9
1-3時間	519	44.7
3時間以上	318	27.4
合計	1159	100.0
欠損値	7	
合計	1166	

Q9-4-3 学生生活における関心事

4) 課外を過ごす際、おこなうこと

友人との会話

	度数	%
会話しない	39	3.4
たまに会話する	416	36.0
よく会話する	700	60.6
合計	1155	100.0
欠損値	11	
合計	1166	

学科別 集計表 1 (※数値は全てパーセント)

		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q1 図書館の利用頻度	ほぼ毎日	4.4	6.6	2.0
	週に数回	25.5	30.0	23.7
	月に数回	41.5	34.9	36.5
	年に数回	15.3	15.1	17.3
	ほとんど利用しない	8.7	8.9	16.1
	利用したことがない	0.7	0.9	1.3
	以前利用していたが最近利用しなくなる	3.9	3.7	3.1
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
SQ1-1-1	利用目的・講義の準備・学習	35.4	37.4	27.4
SQ1-1-2	利用目的・講義の小テスト・レポート	54.7	45.8	41.4
SQ1-1-3	利用目的・ゼミの調べ物	45.3	37.9	34.8
SQ1-1-4	利用目的・文献複写	8.7	10.1	6.1
SQ1-1-5	利用目的・試験対策	25.1	22.2	21.1
SQ1-1-6	利用目的・検定・資格の勉強	11.3	12.1	12.7
SQ1-1-7	利用目的・AV資料の利用	5.3	8.1	5.3
SQ1-1-8	利用目的・教養・娯楽(新聞・雑誌以外)	10.1	12.9	11.4
SQ1-1-9	利用目的・雑誌を読むため	2.7	3.1	2.5
SQ1-1-10	利用目的・新聞を読むため	7.7	11.5	6.9
SQ1-1-11	利用目的・休憩	12.8	11.5	12.9
SQ1-1-12	利用目的・電子ジャーナル・データベースの利用	1.2	0.0	1.3
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
SQ1-2 図書館を利用する時間帯	9-12時	3.9	4.1	3.2
	12-17時	63.4	65.6	66.3
	17-22時	31.3	29.5	28.6
	22-23時	.4	0.0	0.0
	その他	1.1	.8	2.0
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
SQ1-3-1	図書館を利用しない理由・利用する時間がない	21.8	17.0	18.8
SQ1-3-2	図書館を利用しない理由・行くのが面倒	30.9	12.8	26.3
SQ1-3-3	図書館を利用しない理由・利用したい資料がない	7.3	4.3	11.3
SQ1-3-4	図書館を利用しない理由・近くの別の図書館を利用する	0.0	4.3	1.3
SQ1-3-5	図書館を利用しない理由・自分で購入する	7.3	0.0	5.0
SQ1-3-6	図書館を利用しない理由・本は読まずにネットで調査する	30.9	25.5	18.8
SQ1-3-7	図書館を利用しない理由・図書館の雰囲気が苦手	1.8	6.4	8.8
SQ1-3-8	図書館を利用しない理由・利用しなくても支障がない	25.5	36.2	30.0
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q2 図書館の利用の仕方	一人で利用することが多い	75.9	77.0	69.2
	グループで利用することが多い	11.0	11.9	13.9
	どちらとも言えない	13.2	11.1	17.0

学科別 集計表 2 (※数値は全てパーセント)

		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q3-1 学生希望図書購入サービス	良く利用している	.5	1.4	0
	時々利用している	3.1	3.7	2.8
	ほとんど利用しない	49.9	56.8	44.8
	知らない	46.5	38.1	52.4
Q3-2 他大学の貸借・複写サービス	良く利用している	1.2	2.0	1.0
	時々利用している	9.2	10.5	5.4
	ほとんど利用しない	55.7	55.9	58.5
	知らない	34.0	31.6	35.1
Q3-3 電子ジャーナルやデータベース	良く利用している	3.9	3.4	2.8
	時々利用している	16.9	16.9	14.6
	ほとんど利用しない	47.5	47.2	50.4
	知らない	31.8	32.5	32.2
Q3-4 AV資料	良く利用している	3.1	5.1	3.3
	時々利用している	17.6	28.2	23.3
	ほとんど利用しない	72.5	61.3	63.2
	知らない	6.7	5.4	10.2
Q3-5 図書だより	良く利用している	.5	.8	.3
	時々利用している	5.3	8.2	4.6
	ほとんど利用しない	64.1	61.6	56.8
	知らない	30.1	29.4	38.4
Q3-6 選書ツアーコーナー	良く利用している	1.9	3.1	2.8
	時々利用している	12.8	15.3	11.8
	ほとんど利用しない	62.4	57.3	52.2
	知らない	22.9	24.3	33.2
Q3-7 新刊ベストセラーコーナー	良く利用している	2.2	4.0	2.0
	時々利用している	17.8	19.5	17.1
	ほとんど利用しない	63.9	60.5	60.6
	知らない	16.1	16.1	20.2
Q3-8 地域学習室	良く利用している	.7	3.4	2.0
	時々利用している	9.6	13.6	8.2
	ほとんど利用しない	67.0	65.3	61.6
	知らない	22.7	17.8	28.1

学科別 集計表 3 (※数値は全てパーセント)

		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q4-1 校内における図書館の場所	満足	35.4	32.5	33.5
	ほぼ満足	24.8	31.9	22.8
	普通	37.6	33.9	42.2
	やや不満	2.2	1.1	1.3
	不満	0	.6	.3
Q4-2 図書館の施設・設備	満足	28.7	31.6	26.2
	ほぼ満足	34.0	36.4	32.1
	普通	33.3	28.0	38.5
	やや不満	3.4	2.8	2.1
	不満	.7	1.1	1.3
Q4-3 資料の配置	満足	24.0	24.3	19.7
	ほぼ満足	24.0	29.1	22.1
	普通	47.5	42.1	52.1
	やや不満	3.9	4.2	5.6
	不満	.7	.3	.5
Q4-4 図書の整備状態	満足	29.4	30.8	23.3
	ほぼ満足	29.6	33.1	30.5
	普通	38.6	33.6	43.6
	やや不満	2.2	2.0	2.3
	不満	.2	.6	.3
Q4-5 図書スタッフの対応	満足	23.5	24.4	24.4
	ほぼ満足	25.7	27.6	24.1
	普通	40.4	37.2	41.5
	やや不満	8.0	5.4	7.7
	不満	2.4	5.4	2.3
Q4-6 図書スタッフに最も期待するサービス	無回答	4.3	5.6	4.6
	親切で迅速な接客・接遇	46.0	50.0	55.6
	課題・レポートなどの資料収集の相談	15.7	16.6	13.5
	館内マナーの徹底	8.0	8.1	7.9
	適切な資料の配架	22.9	16.6	15.7
	図書ガイダンス	.7	.8	.5
	特集・イベント企画の実施	1.2	1.4	1.8
その他	1.2	.8	.5	
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q4-7 図書館内の雰囲気について	満足	29.2	27.8	25.5
	ほぼ満足	34.2	36.0	35.9
	普通	33.2	33.3	35.7
	やや不満	2.5	2.0	2.9
	不満	1.0	.9	0.0
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q5-1 図書館主催のイベントについて	増やしてほしい	4.2	8.5	6.5
	満足	21.8	26.0	22.5
	特に必要ない	74.1	65.2	70.8
	その他	0	.3	.3

学科別 集計表 4 (※数値は全てパーセント)

		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q5-2 講義の間に 過ごす場所	無回答	14.0	12.4	8.9
	使っていない講義室	2.4	3.7	2.0
	部室	8.4	8.4	8.4
	学生食堂	17.3	22.5	16.5
	学生会館2階	14.9	7.9	10.9
	自宅・アパートに帰る	28.9	25.8	40.4
	友人の家	1.7	.8	1.3
	情報処理室	1.9	3.9	1.3
	図書館	9.6	14.0	10.4
	その他	.7	.9	0
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q5-3 今後の図書 館についての希望	一人で勉強するのに便利な環境	57.1	59.6	52.5
	グループワークに便利な環境	12.8	12.6	13.7
	くつろげる環境	27.2	28.4	29.9
	飲食できる環境	28.2	27.2	27.4
	インターネット環境	16.1	19.7	18.8
	喫煙スペース	6.7	3.4	3.0
	学習支援を受けられる環境	4.1	2.8	1.3
	実用書や息抜きに読める本	10.1	18.3	13.5
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q6 レポート作成 時における資料の引 用実態	無回答	4.3	5.3	4.1
	指定図書を含む講義内容のみ参照	7.5	8.1	7.1
	講義内容+インターネットから引用	41.4	46.3	55.6
	講義内容+図書館の資料から引用	23.1	16.9	15.2
	すべての資料を引用する	23.4	23.0	18.0
	その他	.2	.3	0
SQ6-1-1 引用する 資料のうち、イン ターネット情報をど の程度参考にするか	1割	2.2	1.3	1.7
	2割	8.1	7.6	3.6
	3割	20.3	15.9	16.8
	4割	17.0	19.4	11.7
	5割	20.8	21.6	22.3
	6割	9.7	11.4	13.1
	7割	13.8	13.3	17.9
	8割	5.7	7.0	8.4
	9割	1.4	1.6	3.6
	10割	1.1	1.0	.8
SQ6-1-2 引用する 資料のうち、イン ターネット情報をど の程度引用するか	1割	9.7	8.9	6.3
	2割	18.7	19.3	12.6
	3割	24.0	22.0	23.9
	4割	13.4	18.0	16.1
	5割	18.4	15.1	19.5
	6割	7.5	5.9	8.6
	7割	5.3	6.6	7.5
	8割	1.1	3.3	4.0
	9割	1.1	.7	1.4
	10割	.8	.3	0

学科別 集計表 5 (※数値は全てパーセント)

		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q7 書物との出会い	インターネット検索から	33.4	38.5	38.1
	新聞から	1.3	1.8	1.9
	書店から	40.3	37.6	39.7
	図書館から	25.1	22.1	20.4
		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
Q8 普段、学内で	はい	46.2	49.0	36.9
学習しているか	いいえ	53.8	51.0	63.1
Q9 学生生活における関心事				
1) 学生生活における情報源の接触時間について		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
インターネット (PC・モバイル)	利用しない	3.6	3.7	2.3
	1時間未満	14.9	23.0	18.7
	1-3時間	43.4	44.7	41.8
	3時間以上	38.1	28.7	37.2
新聞・雑誌	利用しない	47.4	44.6	47.5
	1時間未満	47.9	51.1	47.8
	1-3時間	4.0	4.0	4.7
	3時間以上	.7	.3	0
テレビ	利用しない	18.6	13.6	11.8
	1時間未満	33.3	34.7	34.8
	1-3時間	36.7	41.5	43.7
	3時間以上	11.5	10.2	9.7
書物	利用しない	34.3	34.9	44.6
	1時間未満	51.0	49.1	45.4
	1-3時間	13.2	14.5	9.1
	3時間以上	1.5	1.4	.8
2) 学生生活における関心事(1日あたり)		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
アルバイト時間	働いていない	25.1	25.1	26.5
	3時間未満	10.1	12.4	9.5
	3-6時間	52.7	51.0	52.4
	6時間以上	12.1	11.5	11.6
クラブ活動	所属していない	31.1	32.2	38.1
	3時間未満	58.1	54.2	46.9
	3-6時間	10.6	12.1	14.2
	6時間以上	.2	1.4	.8
資格取得	勉強していない	68.4	71.8	65.6
	3時間未満	26.0	23.4	29.8
	3-6時間	4.8	4.5	4.1
	6時間以上	.7	.3	.5
知的探求	興味がない	41.4	36.7	48.2
	3時間未満	52.5	57.9	46.9
	3-6時間	5.3	4.5	3.6
	6時間以上	.7	.8	1.3

学科別 集計表 6 (※数値は全てパーセント)

3) 課外を過ごす場		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
食堂・学生会館	全く利用しない	14.9	13.5	15.8
	たまに利用する	49.8	50.6	57.4
	よく利用する	35.4	36.0	26.8
部室	全く利用しない	14.9	13.5	15.8
	たまに利用する	49.8	50.6	57.4
	よく利用する	35.4	36.0	26.8
自宅・友人宅	全く利用しない	60.7	59.6	69.1
	たまに利用する	26.6	26.3	19.4
	よく利用する	12.7	14.1	11.5
図書館	全く利用しない	10.4	15.8	11.7
	たまに利用する	36.7	36.9	33.9
	よく利用する	52.9	47.3	54.4

4) 課外を過ごす際、おこなうこと		経済学科	地域政策学科	流通・経営学科
携帯電話	利用しない	1.9	1.4	2.1
	1時間未満	23.7	29.0	25.6
	1-3時間	45.4	47.9	41.0
	3時間以上	29.0	21.7	31.3
間食	間食をしない	20.5	14.2	19.6
	たまに間食をする	69.8	71.4	64.1
	よく間食をする	9.7	14.4	16.3
友人との会話	会話しない	4.8	1.4	3.6
	たまに会話をする	37.9	32.8	36.7
	よく会話をする	57.2	65.8	59.7
読書	読まない	46.6	46.8	55.6
	1時間未満	44.2	44.2	35.9
	1-3時間	8.7	8.5	8.0
	3時間以上	.5	.6	.5